

令和2年5月7日

附属学校園の保護者の皆様

鳥取大学附属学校部長 住川英明

鳥取大学附属中学校長 小玉芳敬

### 新型コロナウイルス感染症に係る学校再開の方針について

標記に係る対応について、国及び鳥取県・鳥取市の対応方針を踏まえて検討した結果、下記のとおり本学校部（附属学校園）の対応方針を定めましたので、お知らせいたします。

なお、感染防止の観点から、各学校園あるいは各学年等において、通常とは異なる様々な措置を取ることがありますので、予めご了承ください。急なこともあり、種々ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解とご協力をいただきますよう、よろしく願いをいたします。また、今後の状況によっては対応が変わる場合もありますので、お含みおきください。

### 記

1. 5月7日より通常どおり授業を再開する。ただし附属幼稚園に関しては、当面の間、自主登園とする。
2. 天気に恵まれる時季であり、教室の窓を開けるなど換気を徹底することで、密閉空間をなくし、3密の重なりを防止する。
3. 幼児・児童・生徒・教職員すべてに、マスク着用や手洗い・うがいを徹底する。
4. 公共交通機関を利用した登下校の機会を可能な限り控え、保護者による送迎を検討していただく。
5. すべての関係者が体調管理に努め、少しでも不安がある場合には、登校しない。

新型コロナウイルスの年代別の感染者数をみると、10歳代以下では極端に低い事実が報告されています。「教育機会の保証」の観点から、通常授業の再開等を実行するための重要なデータであると考えられます。また、鳥取県においては、幸いなことに感染者数の報告が3名に留まり、ここ2週間、新たな感染者の報告はありません。ただし、富山県の小学校で4名の児童と担任教員が感染した例もありますので、気を緩めることなく、3密の重なりを徹底的になくす努力を続けながら、子どもたちの教育機会を維持したいと考えています。保護者の皆様におかれましても、ご理解とご協力をいただきますよう、重ねてお願いをいたします。

なお、必要と判断される場合には、ためらわず臨時休校等の措置をとりますので、各学校園からマチコミ等で配信される連絡に十分ご注意ください。